

Ⅱ-2教育研究・教材開発への支援

【教育研究への支援】

Ⅰ 学校園への支援

校園内における様々な研修や研究は、教職員の資質・能力の向上には欠かせないものである。当センターでは、ライフステージや職能、教育課題等を体系化して実施している。

教職員個人の課題解決や資質・能力の向上を目指して実施する校園外研修に対して、校園内研修は、学校園の実態や課題に即して教育目標を立て、教職員に共有化された目標を基に取り組むべき課題を明確に行うものである。

当センターでは、校園内で実施される研修や研究を支援するため、本年度、学校園支援事業を以下のとおり展開した。

(1)スペシャリスト派遣事業

学校園からの要請に応じて、高い技術をもつ教員や先進的な授業研究を行っている研究者を派遣して、校園内研修の活性化を図るために実施している事業である。本年度の派遣状況は以下のとおりである。

【「スペシャリスト派遣」実施状況(講師の職種別)】

	大学 教員	校 園 長・ 教 頭	教 諭	そ の 他	実 施 数	校 園 数
幼稚園	4	4	0	4	12	11
小学校	20	4	2	5	31	26
中学校	3	0	0	7	10	8
義務教育学校	0	0	0	0	0	0
高等学校	0	0	0	0	0	0
特別支援学校	0	0	0	0	0	0
計	27	8	2	16	53	45

※校園長・教頭には元職も含む

※教諭には主幹教諭・栄養教諭・養護教諭も含む

【「スペシャリスト派遣」実施状況(研修内容別)】

	教 科	保 育	道 徳・ 人 権	特 別 支 援	そ の 他	実 施 数
幼稚園	0	12	0	0	0	12
小学校	20	0	8	2	1	31
中学校	1	0	7	0	2	10
義務教育学校	0	0	0	0	0	0
高等学校	0	0	0	0	0	0
特別支援学校	0	0	0	0	0	0
計	21	12	15	2	3	53

※その他は学級経営・生徒指導・授業づくり等

(2)授業力向上推進校

本市と兵庫教育大学との連携協定に基づき、大学の教員を各学校園に派遣し、「わかる授業づくり」に向けて指導・助言を行うことで、教職員の資質・能力の向上を図る取組を推進している。

4月当初に推進校を募集し、原則2年間、下記の6つの特定課題について継続した研究を進め、その間に兵庫教育大学の教員から研究に関する指導を受けることができることとなっている。

【課題研究の内容(連携協力事項)】

- ①学力調査及び生活調査
- ②校園内研修の充実
- ③授業改善の具体的方法
- ④小中一貫教育、校種間連携の推進と充実
- ⑤兵庫教育大学大学院及び学部における教育研究
- ⑥両者が協議して必要と認める事項

なお、本年度の派遣状況は次のとおりである。

【授業力向上プラン推進校(R2~R3年度)】

手柄小	よりよい生き方を求め、自ら気づき、考える子どもの育成
	6/30 9/15 10/15 2/25 実施
飾磨西中	自ら進路を切り拓き、社会に貢献できる人づくり
	10/12 1/25 実施

(3)教育実践研究助成

「魅力ある学校園づくり」や「特色ある教育活動」を促進するための、学校園、校園内グループまたは教職員の実践研究について、3年間を限度として助成している。なお、本年度の内容は次のとおりである。

【教育実践研究助成（H30～R2 年度）】

白鷺小中	探究し続ける児童生徒の育成
	外部講師招聘 1回 先進地視察 4回
東小	前向きに伝え合い、新たな価値を創造する子を育てる
	外部講師招聘 1回 先進地視察 0回
系引幼	心豊かで思いやりのある幼児の育成
	外部講師招聘 1回 先進地視察 0回

【教育実践研究助成（R1～R3 年度）】

安室東小	自然とひたむきに向き合い、感動する人間性を涵養する
	外部講師招聘 1回 先進地視察 0回
飾磨幼	主体的・対話的な学びについて考える
	外部講師招聘 2回 先進地視察 0回

【教育実践研究助成（R2～R4年度）】

豊富小中	ICTを活用した新たな学びの創造
	外部講師招聘 1回 先進地視察 2回
家島小	気づき、対話し、行動しようとする児童の育成
	外部講師招聘 0回 先進地視察 0回
山陽中	よりよい生き方を求め、自ら気づき、考える子どもの育成
	外部講師招聘 3回 先進地視察 0回

書写養護	一人一人の「生きる力」を育む
	外部講師招聘 2回 先進地視察 0回
高浜幼	遊びの中の気付きを捉える
	外部講師招聘 2回 先進地視察 0回

いずれの学校園もそれぞれの課題に対してテーマを設定し、独自の研究に取り組んでいる。

今年度は、コロナ禍の影響で、講師招聘や先進地視察の実施が計画通りできない状況も見られた。

2 カリキュラム・教材開発への支援

「わかる授業」「そだつ保育」を推進・支援するため、教材開発に必要な機器を揃えとともに、整備や最新の教育情報資料の収集や提供に努めている。

(1)教育図書・資料室

教育に関する図書・資料を中心に収集・開架している。定期刊行物では、各教科、道徳、特別支援教育、生徒指導、学校給食、心理学、学校事務、幼児教育等多方面の雑誌を取り揃えている。各種書籍、資料は、教職員だけでなく、市民にも閲覧、貸出できるようにしている。

教育図書・資料室は中播磨教科書センターとしての機能を併せ持ち、小・中・義・特別支援・高等学校の検定済み教科用図書（以下、「教科書」という。）を開架している。小・中・義務教育学校に関しては、過去の教科書も保管しており、要望があれば公開している。本市で採用していない教科書も全て揃えており、教材作りや授業研究の貴重な資料になっている。

【蔵書・資料数】（R1 3月末現在）

教育図書	約 8,281 冊
研究紀要（閲覧用）	約 1,284 点
学習指導案	約 4,753 点

【教育図書・資料室利用実績】（R1 3月末現在）

利用者数	3,336 人
貸出数	463 冊

(2)教材開発室・視聴覚ライブラリー

教材開発室にはパソコン、長尺プリンタ、スキャナ等を置いて、教材や資料を作成できる環境を整えている。約90cm幅の印刷ができる長尺プリンタを活用することにより多くの方々のニーズに応えることができた。また、動画の編集等を行うことができるようにしている。

視聴覚ライブラリーには、教育用DVD機器を備えることで、開館中は市民・教職員が自由に利用できるようにしている。教育関係諸団体には、機材やソフトの貸出も行っている。

(3)ビオトープ

ビオトープは、水辺の自然生態系のモデルとして、身近な動植物を生息させ、理科・環境教育の研修活動で利用したり、理科・生活科の教材研究に役立てたりしている。ビオトープ内の水質は農薬等の有害物質が全くなく、自然な状態のため、ミジンコ、ワムシなどの動物性プランクトンの他に、ミカヅキモ、クンショウモ、アオミドロ、イカダモ、ハネケイソウなど、理科の資料集に出てくるプランクトンをたくさん観察することができる。

3 教職員への教育支援

自主研究会活動

本市では、同じ研究課題を有する教職員が自主的に集まり研究活動を行っている研究グループがいくつかある。年度初めに当センターから募集をかけ、応募し登録した研究グループが、金曜日の夜間開館日や土曜日の開館日に当センターを活動の場として、研究活動を行っている。

今後も、このような教職員の自主的な研究活動を支援し、本市の教育力向上につなげていきたい。

【本年度登録の自主研究会】

新算数教育	小学校社会科
特別活動	SSTA兵庫支部理科教育研究会
幼稚園教育	姫路市図画工作科
みんなで話そうP4Cひめじ	食に関する指導
生き生き学校保健	授業のユニバーサルデザイン
特別支援教育	生活総合

【教育研究員制度】

1 概要

教育研究員制度は、1955年に始まり、各時代の教育課題解決に向けた研究を行い、学校園の教育実践改善に役立ててきた。センター開設後は従来の目標に加え、教育行政における施策立案の基礎資料にすることを目指し、研究活動を行っている。

研究成果は、学校園における教育実践の改善に役立てるとともに、本市における教育を充実させるための基礎資料として活用している。

2 今年度の教育研究班

【令和元・2年度 教育研究班】

	研究テーマ
外国語教育	自然につながるスモールトーク ～つい英語で話したくなる子供を目指して～
若手教員研修	メンターチームを活用した OJT による若手育成研修の創造